

2018（平成30）年11月25日（日曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議（第10期・第13回）の議事録は次のとおり。

- ・柳晴実副委員長、サリ アビシエク副委員長が進行を行った。
- ・全体で協議した後、各部会に分かれて提言内容について議論した。

## 1 全体会議

合同会議およびオープン会議で出た意見のうち、全体に係る意見についてどのように提言へ反映するか協議した。

### 【主な協議内容】

- ・全体への意見その1「県内の日本人をどのように巻き込んでいくか意見があると良い」と、全体への意見その2「未来視点が足りない」については、どちらも外国人だけではなく周りの日本人の事も考えたうえで提言内容を考えてほしいという意見であると思う。
- ・意見で出た未来視点とは、現状では神奈川県内の外国人の割合は2%と少ないが、これからもっと増えていくことが予想され、その時にどう対応するかを考えてほしいという内容だったと思う。
- ・外国人にだけ住みやすくしてほしいという提言内容に見えないような書き方をする必要がある。私たちの提言の趣旨としては、外国籍県民としての意見を基に、日本人も外国人も一緒により良い社会を作っていくことなので、そのような構図を描いている事が読み取れるような前文を入れるとよいと思う。
- ・子育て教育部会の提言にある、外国人ひろばについて、外国人だけで固まることが目的ではなく、自分たちの意見を出せるようになるための1つの段階として考えており、最終的には外国人も日本人も一緒になるよう計画しているという意図が分かるよう、提言を作る必要がある。
- ・日本での生活の中で、現状では外国人が日本人と同じようにサービスを受けられておらず、スタートラインが同じではないので、同じにしてほしいということを提言内容の前文に書くなど、どのような前提での提言が分かるような作りにしたほうがよい。
- ・前文については、副委員長が作成する。
- ・背景や経緯については、各部会で作成したうえで、どのような構成にするか検討する。

## 2 部会別協議

### 【主な協議内容】

- (1) 提言1 「多言語情報の電子化および周知に関する提案」  
神奈川県ホームページのトップページに、多言語情報があることを示すバナーを置くことや、多言語情報を1つのアプリにまとめるなどの具体例を追記する。
- (2) 提言2 「外国人県民と行政の間のコミュニケーション促進」  
既に実施している事例について、導入の経緯などを記載する。
- (3) 提言3 「外国人への就労サポート体制の強化」  
就労に係るフローチャート図を作成できるか検討する。
- (4) 提言4 「外国人の集いの場」設置
- (1) 外国人親ひろば（仮称）について、外国人同士を集めて交流や意見交換をする中で、日本社会に出て自分たちの意見を伝えたり交流していけるようになることを目指しているということを明記。
- (2) 外国人生徒ひろば（仮称）について、生徒ひろばを作るよりも、外国人生徒への日本語学習支援の方に重点を置いた提言にしたため、内容を修正する予定。内容の修正により、提言5の方に合わせることも検討する。
- (5) 提言5 「県立高等学校の教員研修の充実」  
管理職への研修を強化するという内容を追記する。
- (6) 提言6 「学校現場での多文化共生教育の推進」
- (2) 「人材バンク」という表記について、施策の提案に挙げられている文言「多文化共生教育・国際理解教育の外国籍講師等を紹介する窓口」に統一する。  
追加した文章が長いので、もう少しコンパクトにまとめる。

## 3 今後の会議日程について

次回会議日程は、1月13日を予定している。（資料4のとおり）  
今期の会議は、残すところあと2回になる。

#### 4 その他

じかい かいぎ きょうはな あ ないよう ふ ていげんそあん しゅうせい  
次回の会議までに、今日話し合った内容を踏まえて提言素案を修正し、  
がつちゅうじゆん じむきよく ていしゆつ ぐたいてき ていしゆつきげん ちょうせい  
12月中旬までに事務局まで提出する。具体的な提出期限は、調整し  
ごじつれんらく  
後日連絡する。

げんざい せいふ にゆうかんほうかいせいあん かくぎけつてい がいこくじんざい うけい  
現在、政府では入管法改正案が閣議決定されるなど、外国人材の受入れ  
けんとう こんご せいふ うご み ないよう ふ  
について検討がされている。今後の政府の動きを見ながら、その内容も踏  
さいしゅうほうこくしょ おも てん りゆうい さくせい  
まえた最終報告書にしたいと思っているので、その点に留意して作成し  
てほしい。

いじょう  
(以上)